

製 品・技 術 P R レ ポ ー ト

1. 企業概要

会 社 名	株式会社リビエラ			代表者名	今 喜代美		
				窓口担当	今 修一郎		
事業内容	冷暖房設備・融雪設備他 設計施工			U R L	http://www.aomori-riviera.co.jp		
主要製品	地下水熱利用「リビエラエコシステム」(冷暖房・給湯・融雪 他)						
住 所	〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目 2-23						
電話／FAX 番号	017-729-1781／017-729-1782			E-mail	info@aomori-riviera.co.jp		
資本金(百万円)	50	設立年月	昭和 55 年 6 月	売上(百万円)	300	従業員数	17

2. PR事項

『地下水熱・温泉熱・排湯熱等「熱」を利用した省エネ・エコシステムをご提案』

●当社の技術

- 一本の井戸での完全な循環を実現:通常、地下水熱を利用する場合、揚水井戸と還元井戸の二本の井戸が必要です。しかし、当社では一本の井戸で揚水と還元を行う循環井戸を実現し、熱回収を行っております。
- 地下水熱用熱交換器:井戸の中に設置するタイプの熱交換器を開発し、地下水の揚水規制のある地域でも利用できるようにしました。
- 特性パイプによる低温融雪技術:当社特性のアースヒートパイプは、高い耐久性を誇り、管容量が大きいので、蓄熱性が高く、熱ロスが少ないため、13~15℃前後の低温水での融雪を可能にしています。(屋根融雪管はステンレス仕様)



R7年1月大雪時の様子



特性アースヒートパイプ

●地下水熱利用「リビエラエコシステム」イメージ図



- 「地下水」を『熱』として利用・・・地下水の温度は、地下25m以深では15℃前後と年中一定のため、外気温に左右されず、安定した熱を供給できるので、ランニングコストを大幅に下げることが可能です。
- 「地下水」を『水』として利用・・・地下水を雑用水として利用することで、上水道料金の軽減になるだけでなく、災害発生時には飲用水の確保(浄水キット等を使用)、トイレ・洗濯等へ利用をはじめ、火災の簡易消火設備としても使用できます。

3. 特記事項 (期待される応用分野等)

- 「地下水熱利用設備における地中装置」特許第 4393285・特許第 4485465、「自然水熱採集ユニット」特許第 6963813、「地下水往還装置」特許第 6998593、「熱交換補助装置」特許第 7109781 他
- R5 第 29 回東北ニュービジネス大賞特別賞、R3 文部科学大臣表彰(科学技術分野)創意工夫功労者賞 他